

安芸税務署長賞

「私たちの生活と税金」

室戸市立吉良川中学校 三年

村田 希

私はチョコレートが好きなのでよくチョコレートを買います。買う度、「百円が百五円になるのが嫌だな。」

と思っていました。でも、その五円がないと私達の生活は成り立ちません。

私達、小・中学生が教科書を使い勉強したり、部活動の練習や大会に出場できるのも、義務教育の一環であり、「納税の義務」は国民の三大義務のひとつであるから賄ってもらえるのです。教科書の裏には、「これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ」と記されています。私は税金について学習し、この言葉の重みを改めて知りました。納税が義務であると同時に私達はその期待に答える必要があると思います。税金を払う人がまた気持ちよく納税できるように。

税金は支え合いの仕組みです。私達の住む町に欠かせない学校や病院・道路・森林の保全や環境も税金で成り立っており、税金を払うことによって人の命を助け、環境を保持していけるのです。

国民が支払う税金は日本国民だけでなく国外でも人々の生活を支えています。「経済協力費」として開発途上国の経済援助で使われていることを知ったとき、心から私も貢献したい！と思いました。少しでも貧困や飢餓で苦しむ人が減り、その国でも支え合いの仕組みである税金制度を取り入れ、今度はその国が他の国を支えられるような、そんな助け合う世界になっていきたいです。

その為に、私ができる事は、五円の消費税でも快く払うことだと思います。一時、近年に消費税が上がる事がニュースや新聞等で取り上げられました。今の私なら消費税が何円上がっても快く払うことができますと思います。そして、納税をきちんとする大人になりたいです

しかし、国民が納める税を無駄遣いなく使えているのでしょうか。「使えている」と言えようそになるのではないのでしょうか。国と国民で、納めた税金の使い道に目を向け、見直すことが大切だと思います。

少子高齢化が進んだ日本ではお年寄りが安心して暮らせるように、医療や年金などの社会保障の充実が必要になってきます。その為に数少なくなっている働き手の人と支え合っていかなければいけません。豊かな共同生活を維持していくことが必要だと思います。

税金は私達が私達のために行っていることなのでなくなってしまうと私達の使う日用品や公共物、救急車や警察の仕事がなくなったりし、そして私達だけでなく、環境や動物も被害にあいます。

人や環境・動物を思う気持ちがある人は納税すると思います。私達皆、税を

払う側であり、税で負担してもら側なので、常に感謝の気持ちを忘れず使い、納めていきたいです。